

日刊 動労千葉

84. 6. 15

No. 1666

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

「三里塚-国鉄」決戦勝利で、中曽根打倒へ！

「中曽根阻止」

第9回臨時委で確認された6~7月方針

動労千葉は六月十二日に第九回臨時委員会を開催し、八四春闘、動乗勤を中心とするこの間の闘いを総括するとともに、「三里塚」と「国鉄」を基軸に六〇七月トマホーク配備、今秋三里塚二期着工を阻止し、国鉄労働運動解体攻撃を打ち破り反動中曽根を打倒するための組織体制強化にむけた具体的取り組みについて、次の通り決定しました。

1 動乗勤改善の取り組み

- ① 全般的情勢の中で四月五日に大筋集約し、残された協定作業等を含め、次の通り取り組みます。
- ② 内達対策委員会を引き続き設置し、協定整理の中で組合要求の押しこみをはかります。
- ③ 次期「ダイヤ改正」にむけ、各支部で職場集会、学習会を開催して集約内容の全体化をはかり、ダイヤ作成時に組合要求を押しこみます。
- ④ 運転保安問題について原則的な闘いを展開し、動乗勤制度改善とあわせて闘いを強化します。

2 検修合理化対策について

当面する検修合理化に対処するため、本部交渉部及び検修分科執行部を中心に、検修合理化対策委員会を設置します。

3 「過員対策」の取り組みについて

「過員対策」をはじめ、職場における合理化に具体的に対処するために、職場諸要求の獲得、分科会相互の意志疎通をはかるため、本部分科会三役会議を定期的に開催します。

4 四月期昇給について

八四年四月期昇給については、八三年四月期に二年間協定として改悪された内容にもつき実施されることとなり、過日、当局より「七月三十一日に差額を支給したい」旨提案がありました。当局の狙いは、3項8号及び4項の乱用をもって組合員を分断し、職制による職場支配の確立にあることは明らかであり、こうした策動を封じこめ、組合要求の押しこみをはかるために早急に取り組みの強化をはかることとします。

5 組織強化・拡大の闘い

- ① 動労千葉労働学校は成功裡に第一歩を踏み出しましたが、卒業までの一年間の全力傾注を要請するとともに、各支部における学習活動を強化します。
- ② 故・平野雅夫運転士殉職事故に鑑み、毎月三

- ③ 〇日を運転保安確立の日に設定し、全組合員による安全運転（作業）行動を実施します。
- ④ 地域班、家族会の結成について、おそくとも八月末結成にむけて全力で取り組みます。
- ⑤ 臨調・国鉄労働運動破壊攻撃の中で、機関・組合員及び相互間の意志疎通をはかり、職場における反撃態勢をより強化するために、各支部における月一回の職場集会の開催、定着化をはかります。

6 六月行動について

アメリカ帝国主義・レーガンは、六月核トマホーク日本配備を発表し、中曽根はこれを当然であると公言しました。これは中曽根の軍事大国にむけた戦争政策の具体的実践にほかなりません。今こそ、反戦・反核の闘いが問われており、次の通り取り組みます。

- ① 六月十五日、日比谷野音で開かれる「トマホーク配備阻止、三里塚二期決戦勝利、関西新空港粉砕、中曽根打倒 6・15全国集会」に積極的に参加します。
- ② 総評・県労連が提唱する六月二四日の「トマホーク阻止6・24全国集会」に参加します。
- ③ 委員会後から七月末を目前に、教宣部発行の「トマホーク阻止に向けて」の職場討議資料に基づき、各支部で「反戦・反核」学習会を開催することとします。



トマホークが配備されるステーション級原潜

許すな！

トマホーク配備艦である「タニ」が、6月14日横須賀に入港した。同級原潜37隻中、同艦を含め22隻にすでに核非核両用のトマホーク発射装置が取り付けられている。入港自由を歓迎を公言する反動内閣・中曽根を許すな、6・15全国集会に全力で決起しよう！

（6/14朝）トマホークきょう横須賀入港